



2760



THE GOVERNOR'S HOME
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760



ガバナーズ・ホームクラブ・バナー

歴代ガバナーのサイン

1998～1999	内藤 明人	2003～2004	豊島 徳三
1999～2000	野村 重彦	2004～2005	大島 宏彦
2000～2001	福田 清成	2005～2006	高橋 治朗
2001～2002	太田 賢太郎	2006～2007	瀧澤 直美
2002～2003	岡部 欽圓	2007～2008	江崎 柳節

序文



回顧をもとに、より実践と進化を もたらすロータリーへ

国際ロータリー第2760地区直前ガバナー
地区史編纂委員会委員長

江崎 柳節

ロータリーが誕生して100年余り、曲がりなりにも今日の成熟したロータリーの中に身を捧げうる我が栄光を思わずにはいられない。

現在、ロータリーは世界200以上の国から120万の事業及び専門職務の指導者からなる人類文化史上希なる理念の高い奉仕団体であり、世界165カ国以上に人道奉仕の実践と世界の友情、そして平和の構築につとめている。

我が第2760地区は、現在最も元気の良い愛知県全県一区の地区であり、つねに日本34地区のトップの会員数と最高の例会出席率を誇っている。

しかし、日本のロータリーに目を向けると問題点が無いわけではなく、その最大の懸案が世界とかけ離れた会員数の減少である。これは決して経済情勢、社会情勢が関わっているのではないと思われる。いま日本のロータリーは、明らかに情報共有の不足が国際的に際だっている。日本語も公式言語にはなっているが、国際ロータリーの中で日本の「識IT率」と公用語格差が国際的な孤立をもたらしているといっても過言ではない。

これに関してやらなければならない方策は、クラブに於ける情報収集機能の構築とロータリーについての研修機能を打ち立てることであろうと思われる。これはクラブ奉仕の検討すべき急務であることを指摘したい。

地区史第3号は、直近10年間の地区の進歩、変遷と地区内81クラブの様態、進化を中心にまとめたことは地区史として当然であるが、特に今回は、10年間の国際ロータリーの変遷とともに、地区、クラブの変わりつつある奉仕プロジェクトの新しい傾向と実績を盛り込んだところに特徴があると思っている。また、国際博覧会にロータリー館を出展した記念すべき思い出も忘れるることはできない。

ロータリーは高い理念「奉仕の理想」を掲げて進んできた団体であるが、間違えていけないのは“思想団体”ではなく、奉仕の理想をかたちにして人類のために尽くす“実践団体”であることである。

この10年の尊い先人の足跡を通觀され、今後10年間の目指すべき方向の寄す処になればと願っている。

発刊のことば



10年史ロータリー愛知81

国際ロータリー第2760地区
2008~'09年度ガバナー

片山 主水

現R I第2760地区ロータリー愛知81が、愛知県全県1区となって10年が経った1997年度に、『かがやけロータリー 愛知』と題して1987年度から1997年度の11年間の地区分割10年史が記録されました。早いものでそれからまたその後の10年を回顧する時期となり、この度、地区史編纂委員会により『進化するロータリー 愛知』と題して1998年度から2007年度までを記録する地区10年史が発行されることとなりました。

顧みますと、この10年間の変化の第1は、将来に亘って長く記憶されるべき会員の大減少です。前10年の終年度の期央において地区会員数76クラブ6,457人（『1997年度月信6月号』による）が、10年後の2007年度末において81クラブ5,039人と2割強も大きく減少させました。5クラブを拡大したものの60人のクラブを20も失ったことになります。20年前の地区分割時の4,735人に限りなく近づきつつあります。第2の変化は地区リーダーシッププランの定着です。分区代理制をやめガバナー補佐を設け、分区とクラブとの関係においてその役割を強化し、ガバナーの公式訪問を合同方式とし、クラブ協議会をガバナー補佐が担当するという機構改革が定着しました。第3はロータリー財団の重要性が、分野の広さにおいても質においても確固として一段と増してきたという事実です。第4はロータリー創立100年を迎、予測困難な21世紀に突入して、ロータリーの諸原則が変質し耐用年数に差しかかっているかと思われる現象です。

『進化するロータリー 愛知』をつぶさに読んでいただきますと、これらのごことがお判りいただけるものと思います。皆様方の蔵書の端に加えられ、折りにふれご参考にしていただければ、望外の喜びであります。

これに続く我々の責任は、共々、これらの事象に再評価を施し「持続可能な前進」をしていくことでなければなりません。

最後になりましたが、編纂委員長江崎直前ガバナーをはじめ各委員の方々および関係の皆様方のご努力に心から感謝申し上げます。

クラブバナー

創立順

1920年代



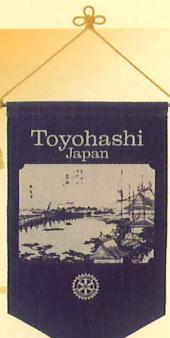
名古屋(1925.2.7)
西名古屋分区

1940年代



一宮(1949.12.31)
西尾張分区

1950年代



豊橋(1950.8.26)
東三河分区



田原(1961.4.20)
東三河分区



犬山(1961.11.6)
東尾張分区



一色(1962.12.3)
西三河分区



一宮北(1963.6.30)
西尾張分区



稻沢(1963.12.6)
西尾張分区



名古屋守山(1964.5.7)
東名古屋分区



半田(1951.6.6)
南尾張分区



岡崎(1951.6.18)
西三河中分区



津島(1953.6.22)
西尾張分区



名古屋西(1954.2.5)
西名古屋分区



刈谷(1954.3.30)
西三河分区



蒲郡(1954.4.22)
東三河分区



岡崎南(1964.11.12)
西三河中分区



江南(1965.6.25)
東尾張分区



豊橋南(1966.5.12)
東三河分区



名古屋みなと(1966.5.12)
西名古屋分区



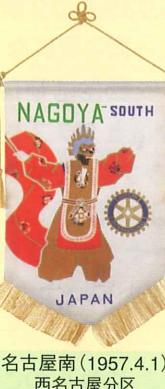
常滑(1966.6.11)
南尾張分区



新城(1967.5.25)
東三河分区



尾西(1955.12.17)
西尾張分区



名古屋南(1957.4.1)
西名古屋分区



豊橋北(1957.5.20)
東三河分区



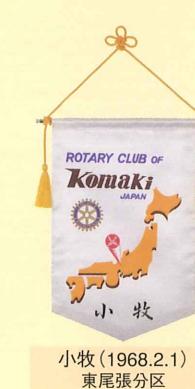
安城(1958.2.6)
西三河分区



西尾(1958.6.13)
西三河分区



豊川(1959.3.12)
東三河分区



小牧(1968.2.1)
東尾張分区



高浜(1969.2.26)
西三河分区



名古屋東南(1969.3.12)
西名古屋分区



渥美(1969.4.26)
東三河分区



春日井(1969.5.1)
東尾張分区



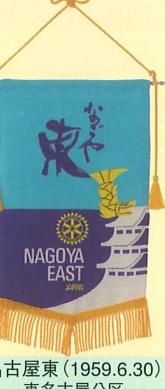
東海(1969.5.9)
南尾張分区



碧南(1959.4.8)
西三河分区



名古屋北(1959.6.17)
東名古屋分区



名古屋東(1959.6.30)
東名古屋分区



瀬戸(1959.9.11)
東尾張分区

1960年代



豊田(1961.1.24)
西三河中分区



東知多(1969.6.13)
南尾張分区



あま(1969.6.23)
西尾張分区



名古屋中(1969.10.13)
西名古屋分区



奥三河(1970.6.15)
東三河分区

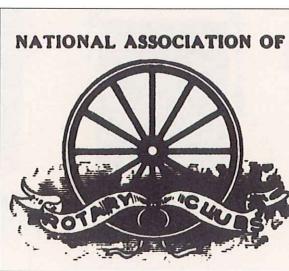


豊田西(1970.9.1)
西三河中分区





ロータリー100年のあゆみ



1905

ポール・ハリスによって
米国イリノイ州シカゴに
ロータリーが創設される。



最初のロータークト
クラブが、米国ノースカ
ロライナ州シャルロット
で創立される。

1910

最初のロータリー国
際大会で、全米ロー
タリークラブ連合会が
結成される。

1917

RIのロータリー財団の
前身、ロータリー基金が
発表される。



1927

デンマークのコペン
ハーゲン、ならびにフ
ランスのニースで青
少年交換が始まる。



1932

シカゴのロータリアン、
ハーバートJ.テーラー
が「四つのテスト」を
定型化する。



1943-46

イングランド、ロンドンの
ロータリアンが、ユネスコ
に先立って会合。ロー
タリアンが国連の創立と
その準備に参加。国際
ロータリーが国連に対
する世界的支援を推進。



1962

初のインターベント
クラブが、米国フロ
リダ州のメルボルン
で結成される。



ロータリー創設
100周年を祝う。

1968

1971

1980

1986

1987

1993

2002

2005





会期：2005年3月3日～9月25日

世界初、記念すべき 国際博への「ロータリー館」出展

愛・地球博 ロータリー館（友愛の家）



2005年国際博委員会 委員長
国際ロータリー第2760地区パストガバナー
名古屋西ロータリークラブ

内藤 明人

私が1998～'99年のRI第2760地区のガバナーをしていた時に万博開催が決定され、RCとしても独自にロータリー館を作ることとなり、2005年国際博委員長をとの下命を戴きました。人的・物的・予算的・運営等の面から考えました。人はガバナーを支えて戴いていた私の出身名古屋西RCからの岩間幹事以下の方々、また当地区RCから出て戴いたガバナー補佐の方々に御願いすることが出来ました。設計は委員の中に有名な設計事務所をしておられる國分さんに御願いし、国際ロータリーにふさわしい設計で大変幸せでした。資金については、その方針のもと2億6,000万円の予算でやろうと決めました。土地代はRCは社会的な機関だから免除して戴けました。さらに、豊島（一宮北RC）副委員長にロータリー館長を務めて戴き、順調な運営ができましたことに感謝しています。資金も3億2,000万円集まり、建設費及び運営費を合わせても2,000万円余り、これを公的機関へ贈りました。このように2005年国際博ロータリー館は各クラブ及び国際博委員の御協力のもとに順調に出来ましたこと感謝しています。



◀2004年2月、ロータリー館起工式での鉄入れの儀。同年11月には竣工を迎え、館の引き渡し式が催されました。

2005年3月3日、ロータリー
クラブ芳銘除幕式。
いよいよ開館です!



▼2005年6月30日、ロータリー館パビリオンデーには、100周年メモリアルコンサートを開催。
「名古屋フィルハーモニー交響楽団」と「コールロータリーEXPO」が競演しました。

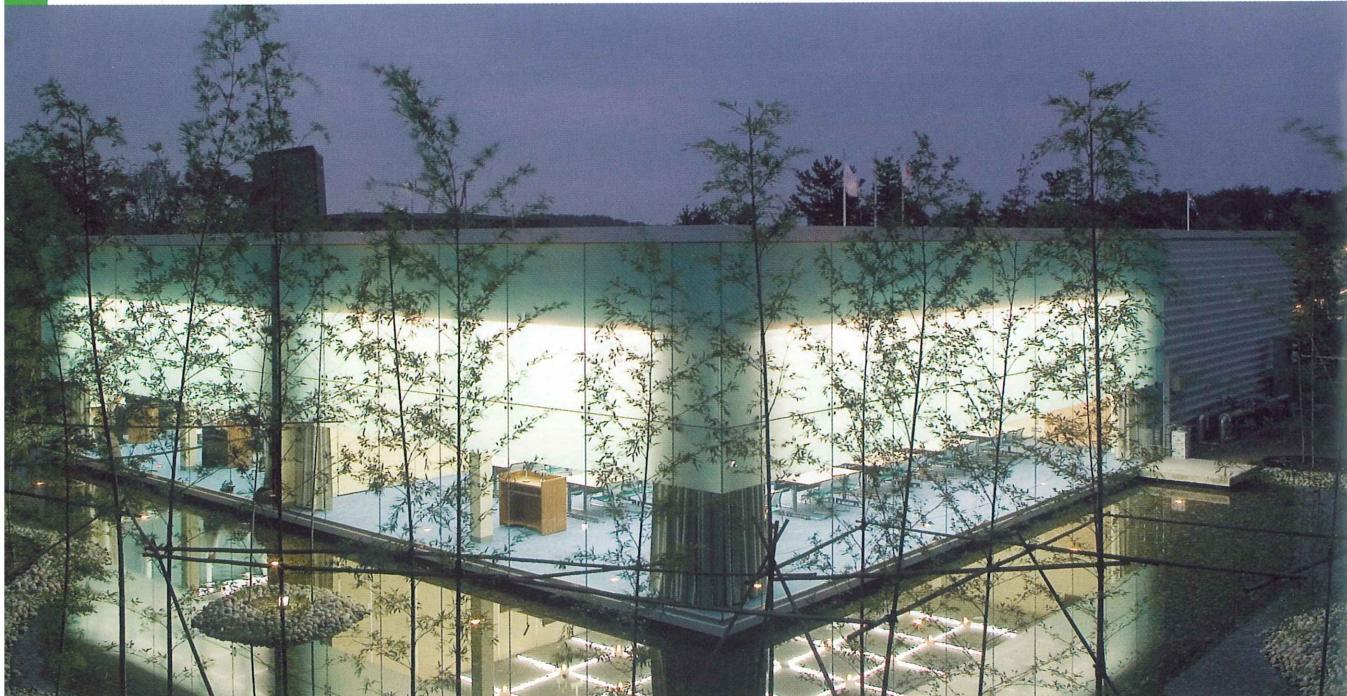


世界中から訪れた多く
の方々との出会いが
ありました。





ロビーには来館されたクラブの▶
バナーが数多く飾られました。





▲ 2005年9月24日、愛・地球博最終日の前日に「さよならロータリー館」レセプションを開催。
国際博委員会・運営委員会の方々はとても満足そう。

最終日に来館者で賑わう、▶
ロータリー館のロビー



ロータリー館運営組織

ロータリー館事務局

館長

豊島 徳三(一宮北RC)

副館長

藤本 博之(名古屋西RC)

館長補佐

大竹 一義(瀬戸RC)

館長補佐

飯田 幸雄(尾張旭RC)

館長補佐

丹羽 司一(愛知長久手RC)

事務局員

菊地 隆

丸山 仁美

河原 魔里子

前川 雅子

藤田 真理子

光村 和也

ロータリーホール運営事務局

金森 徳行

林 信之

加藤 泰美

須藤 一樹

鈴木 孝枝

2005国際博委員

委員長

内藤 明人(名古屋西RC)

顧問

盛田 和昭(名古屋RC)

福田 浩三(名古屋空港RC)

加納 泉(名古屋中RC)

石川 和昌(豊橋RC)

副委員長

野村 重彦(刈谷RC)

福田 清成(江南RC)

太田 賢太郎(岡崎RC)

岡部 快圓(名古屋大須RC)

大島 宏彦(名古屋RC)

高橋 治朗(名古屋西RC)

川村 悅式(名古屋RC)

坂田 隆(瀬戸北RC)

岩間 俊夫(名古屋西RC)

委員

加藤 俊夫(名古屋空港RC)

村野 力男(豊田西RC)

内田 栄一(半田RC)

加藤 令吉(瀬戸RC)

伊藤 鶴吉(江南RC)

鈴木 孝則(あまRC)

瀧 義孝(一宮北RC)

田中 清隆(あまRC)

池田 憲司(刈谷RC)

上村 晋也(名古屋和合RC)

安藤 重良(名古屋RC)

川島 誠(名古屋西RC)

加藤 知成(東知多RC)

片山 主水(名古屋東南RC)

神野 紀郎(豊橋RC)

杉本 仁至(名古屋中RC)

種村 桂介(名古屋栄RC)

國分 孝雄(名古屋和合RC)

会計

中野 昭雄(瀬戸北RC)

監査

内藤 耕造(刈谷RC)



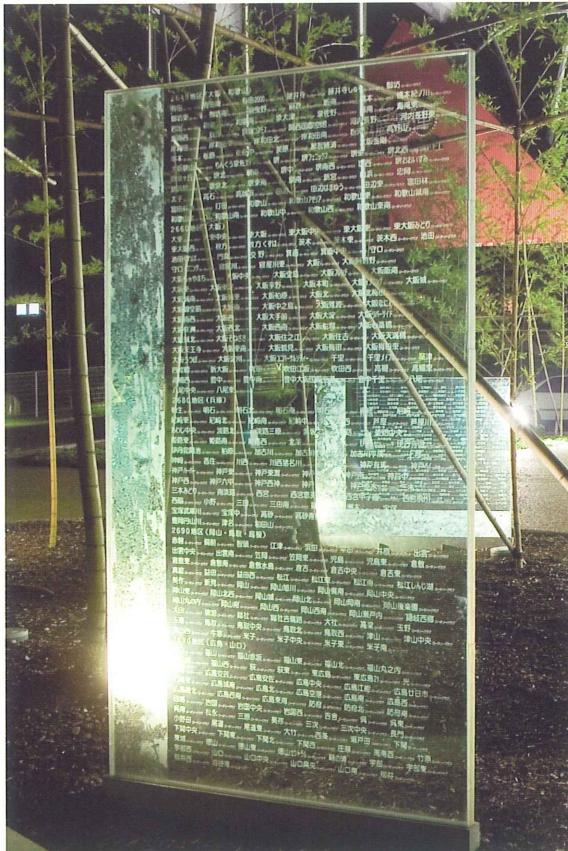
2005年日本国際博覧会 ロータリー館 館長
国際ロータリー第2760地区バストガバナー
一宮北ロータリークラブ

豊島 徳三

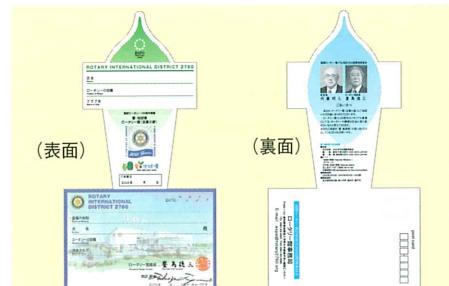
2005年9月、『愛・地球博』は185日の会期を終え無事閉幕の日を迎えた。2003年晚秋、万博協会と用地受渡し、起工式、竣工式、開幕の日、そして閉幕の日の全てを終えた今日、さらに募金のお願いに冷汗を流した日々を思い出す時、万感胸に迫るものがある。

館長を拝命し、希望と戸惑いの中でのスタートとなった。しかし、この間の来館ロータリアンとそのご家族は2万人を越え、全来場者数2,200万人の約1,000人に1人はロータリー関係者といった盛況ぶりには感謝と感激の日々であった。多くの出逢い、友情、名刺も1,400枚を越えた。皆様の協力と好意と友情により館長を全う出来た事を改めて感謝申し上げたい。

奉仕の原点、微笑みを。「ありがとう、ごめんなさい」を素直に口に出来る事を学ばせてくださった全てのロータリアンに心から感謝申し上げたい。



▲全日本ロータリークラブの銘板



▲来館記念カード

来館者数

ロータリー関係

例会 193回／228 クラブ
他会合 16 回
(ガバナーハイ、委員会他)

例会出席者 12,092 人
(ガバナーハイ、委員会他)

会合出席者 1,271 人
メークアップ 地区内 2,763 人
地区外 4,799 人
海外 579 人

総計 21,504 人

ホールイベント関係

利用件数 163 件
利用人数 55,500 人